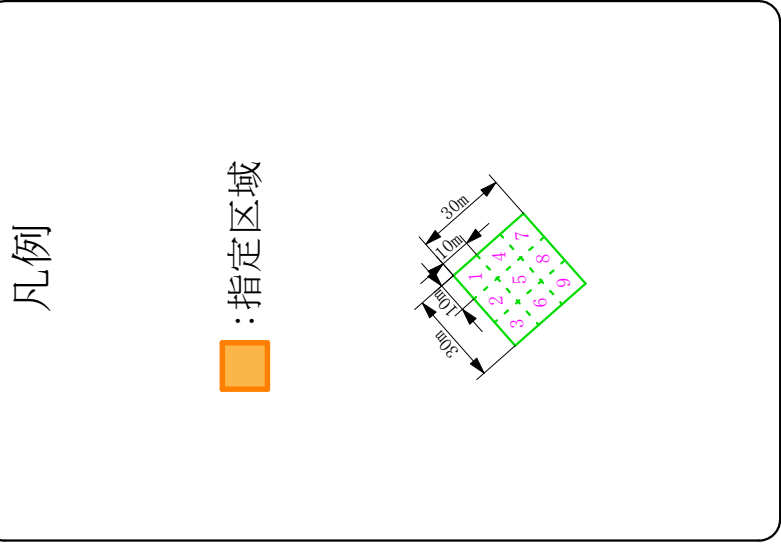
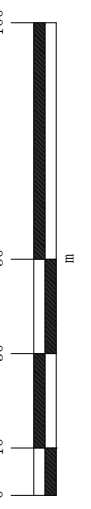


図 位置図



別図 指定区域図



## 調査方法

## 1 調査実施日

土壌ガス採取	平成 18 年 8 月 14 日～23 日
(土壌ガスが採取不可の地点については、8 月 23 日に地下水を採取)	
表層土壌採取	平成 18 年 8 月 12 日～9 月 4 日
分 析	平成 18 年 8 月 14 日～9 月 21 日

## 2 調査方法

## (1) 第一種特定有害物質 (VOC 類) について

汚染のおそれがあると認められる区画については 10m メッシュにつき 1 地点、汚染のおそれが比較的少ないと認められる区画については 30m メッシュにつき 1 地点、地表から概ね 1m の深度から土壌ガス調査を実施した。

土壌ガスの採取は、調査地点において採気管を挿入し、捕集バッグ法により、0.8～1.0m 深度の地点の土壌ガスを採取した。なお、1 区画については、同深度で地下水が湧出し、土壌ガスが採取できなかったため、同深度の地下水の採取を行った。

## (2) 第二種特定有害物質 (重金属等) 及び第三種特定有害物質 (農薬等) について

汚染のおそれがあると認められる区画については 10m メッシュごとに 1 地点、汚染のおそれが比較的少ないと認められる区画については 30m メッシュごとに区画内 5 地点(複数地点)混合で、表層土壌(深さ 50cm まで)について、土壌溶出量及び土壌含有量調査を実施した。(土壌含有量調査は第二種特定有害物質のみ。)

表層土壌の採取は、表層の土壌(地表から 5cm まで)及び深さ 5～50cm までの土壌をそれぞれ深さ方向に均等に採取した。なお、排水管等の構造物が深度 50cm 以深にある場合は管底等から 50cm 深度の土壌を均一に採取した。

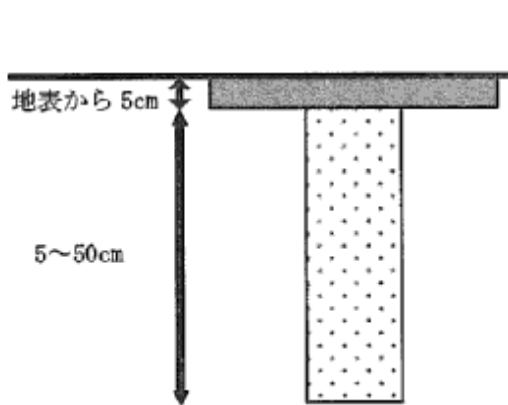


図. 表層土壌

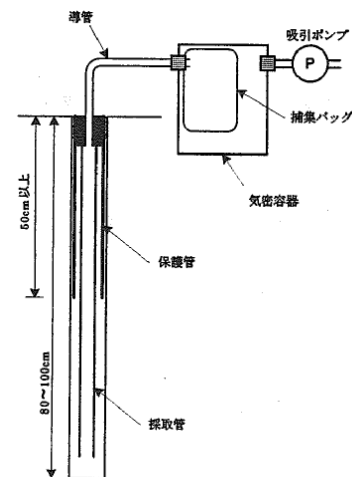


図. 土壌ガス

## 3 分析方法

## (1) 土壌溶出量調査

環境省告示第 18 号 (平成 15 年) による方法。

## (2) 土壌含有量調査

環境省告示第 19 号 (平成 15 年) による方法。

## (3) 土壌ガス調査

環境省告示第 16 号 (平成 15 年) による方法。



**基準値**  
 (土壤溶出量試験)

六価クロム	基準値 0.05mg/L以下
シアン	基準値 検出されないこと
鉛	基準値 0.01mg/L以下
砒素	基準値 0.01mg/L以下
ふっ素	基準値 0.8mg/L以下
ほう素	基準値 1mg/L以下

(土壤含有量試験)

鉛	基準値 150mg/kg以下
---	----------------

**凡例**

第二種特定有害物質  
 複数混合調査地点  
 83区画 (332試料)  
 1点調査地点  
 92区画 (92試料)

図 表層土壌調査結果 (基準超過項目)